

令和4年12月1日

行政視察活動記録

議会運営委員会

委員長 江村 信介

年月日	令和4年11月21日 から 令和4年11月22日 まで
場 所 及び目的	場所：兵庫県加東市、兵庫県朝来市 目的：議会中継及びインターネット配信について
参加者	議会運営委員会委員、議長、副議長 9名 議会事務局 2名 計 11名
相手方 及び目的	1. 兵庫県加東市議会事務局 2. 兵庫県朝来市議会事務局 視察のテーマ：議会中継及びインターネット配信について インターネットの高速化が進み、インターネットによる議会中継に取り組んでいる議会が急速に増えている。本委員会に、さぬき市議会においても、今後の取り組みとして、インターネット配信によるライブ中継、録画中継の導入が必要ではないかという意見が出され、本委員会では、これまでの広報活動の経緯について検証し、インターネット導入について議論してきた。そこで今回、「議会中継及びインターネット配信について」をテーマに、ケーブルテレビとインターネットを活用して本会議、委員会の動画配信を実施し、さぬき市と同じような成り立ちの歴史を持つ2自治体を視察し、それぞれの方法の利点や課題について調査・研究を行い、本議会のインターネットによる議会中継実施に向けた協議の参考にすべく視察を行った。
内容・ 結果等	1. 加東市議会 【概要】 加東市は、平成18年3月に社町、滝野町、東条町の3町が合併し、人口が約4万人、市の面積は約157平方キロメートルであり、議会改革にも積極的に取り組まれている。平成22年9月に議会基本条例を制定した後、議会広報、ネット中継の充実などに取り組んできた。また、平成28年9月に1度目の条例改正を行い、再度、平成29年2月より条例の検証を開始し、平成30年9月に条例改正を行い、2度目の見直しに着手されている。 議会放送は、本会議はネット・CATVで生中継（ネットでは録画視聴可）、委員会はネットでの録画視聴となっている。

内容・
結果等

【議会中継導入の経緯】

3町の合併時、2町がCATVを導入しており、残りの1町にもCATVを展開し、ダイジェスト版として放送することとなった。その後、平成26年の新庁舎建設に当たり議場に中継システム（本会議場約1,200万円、委員会室約900万円など総額約5,200万円）を導入し、以後インターネット配信も同年より開始した。

【経費（初期投資とランニングコスト）】

CATVでの議会映像配信については、市直営であるため、議会費としての費用負担はない。

インターネットでの議会映像配信の初期投資については、新庁舎建設時の総額約5,200万円である。

ランニングコストについては、インターネット議会映像配信システム委託料（議会ライブ配信及びVOD映像配信サービス費、画像配信運用管理費、VOD画像データ加工料）として毎年予算計上している。

<インターネット配信の配信時間及び経費>

令和4年度予算	2,054,800円
令和3年度実績	129時間 1,486,650円
令和2年度実績	130時間 1,314,500円
令和元年度実績	146時間 1,736,290円

【インターネット配信の視聴率と市民の反応について】

<インターネット配信の視聴率>

○生中継

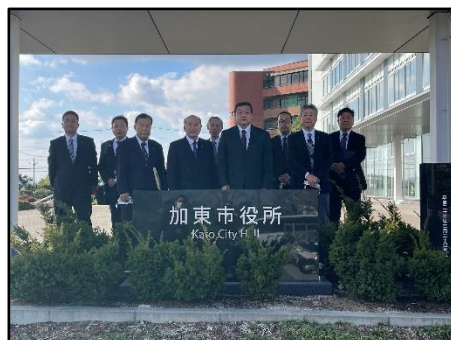
令和元年度	5,727回、
令和2年度	3,613回、
令和3年度	4,402回

○録画配信

令和元年度	148,458回、
令和2年度	120,879回、
令和3年度	183,436回

<市民の反応>

アンケート調査の結果、インターネット配信をしていることを「知らない」又は「知っているが見たことがない」との回答が全体の約80%を占めていた。



2. 朝来市議会

【概要】

朝来市は、旧朝来郡生野町・和田山町・山東町・朝来町4町の合併により平成17年4月1日に発足し、南北約32km、東西約24kmの範囲に広がり、総面積は403.06平方キロメートルで県全体の4.8%を占めています。

朝来市議会は、平成17年4月、朝来市議会発足時から議会改革に取り組みケーブルテレビの本会議生中継（一般質問のみ夜間に再放送）、一般質問の一問一答方式の導入、委員会の公開、会派制の導入、委員会等への参考人招致、市民アンケートなどに取り組まれている。

議会放送は、本会議はCATVで生中継、ネットでは録画映像を配信している。委員会はネットでの録画面像配信のみとなっている。

【議会中継導入の経緯】

朝来市は、旧4町とも既にケーブルテレビが整備されており、旧和田山町と旧朝来町では、議会中継を行っていたことから、合併後はこの2町に合わせて議会中継を行うこととなった。朝来市議会も加東市議会と同様に新庁舎建設に合わせて議会中継システムを導入した後、インターネット配信を開始した。

【経費（初期投資とランニングコスト）】

CATV議会映像配信については市直営であるため、議会費としての費用負担はない。

インターネットでの議会映像配信の初期投資は、新庁舎建設工事費に組み込まれたため、正確な費用額算出できていないとのことである。

<ランニングコスト等>

○初期導入経費 15,000円

○ランニング費用 月額 110,000円

(導入当初は月54,000円)

年間約130万円(配信時間については制約なし)

○インターネット議会映像配信業務委託契約は5年契約

【インターネット配信の視聴率と市民の反応について】

<インターネット配信の視聴率>

○生中継

令和元年度4,438回、

令和2年度6,112回、

令和3年度7,425回

内容・
結果等

<市民の反応>

議会モニター制度を導入しており年間数件の意見等があり改善に取り組んでいる。ケーブルテレビに対する市民の声としては、開会前や休憩中の映像について。また、一般質問時に、質問のテーマ等をテロップで表示についてなど。また、インターネット配信に対する市民の反応については、ライブ配信において人によって音声の大きさが変わるため、聞き取りづらいとの声があるとの事であった。



【所感】

①議会中継システムについて

両市とも新庁舎建設時に議会中継システムを導入しており、本市との大きな違いがある。今後、さぬき市議会がネット配信に取り組むためには、安価な初期費用で対応できる方法を調査研究しなければならない。

また、ランニングコストにおいては議会事務局職員数も考慮し、現体制で可能な方法で、かつ、安価な配信委託先の調査研究が必要である。

②今後の市議会の動きについて

さぬき市議会においては、平成28年に制定したさぬき市議会基本条例第10条「広報の充実」の条文について、最も時間をかけ議論した。特にネット配信については、後ろ向きな意見は少なかったものの、「厳しい財政状況の中、インターネット配信設備の導入は税金の無駄遣いではないか」との意見も出された。つまり、当時の課題は、インターネットによる動画配信の費用対効果であった。今のようにスマートフォンやタブレットなど様々なインターネット活用方法は少なく、高齢化が進むさぬき市において本当に必要なのか、また、市内世帯の中でパソコンの活用者がどれぐらいいるのか、インターネット利用者はどれぐらいいるのかなど、様々な議論がなされた。結果、既に活用していたCATVを最大限有効利用し、市民への広報活動を推進することになった。

しかし、時代も大きく変化し、デジタル社会が構築されつつある中、様々なインターネット環境も変化している状況に鑑み、さぬき市議会においては、議会基本条例第10条「広報の充実」の条文について、再度議論すべき時期がきているものと思われる。

最後に、さぬき市よりも人口が少ない加東市、また、高齢化、過疎化が進む朝来市での行政視察で学んだことは、多様化した時代に、市民と議会を結びつけるためには、我々議会も多様化しなければならない。その方法の選択肢の1つが、インターネット等での議会動画配信であることを感じさせられた。

内容・
結果等